

令和2年度 事業報告書

2020 Business report

令和2年度を
振り返って

法人概要

事業管理

各施設事業執行状況

研修実施内容

<http://www.osj.or.jp/>

〒562-0012 大阪府箕面市白島三丁目5番50号
TEL.072-724-8166／FAX.072-724-8165



Osakafu Syakaifukushi Jigyodan

INDEX

I 令和2年度を振り返って	2
II 法人概要	3
1. 沿革	3
2. 評議員会	11
3. 理事会	11
4. 監事監査	12
5. 評議員一覧	12
6. 役員一覧	12
7. 施設長会議	13
III 事業管理	15
IV 各施設事業執行状況	21
1. 特別養護老人ホーム美原荘	21
軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘	
特別養護老人ホーム美原荘「すごうの郷」	
2. 特別養護老人ホーム春日丘荘	23
特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」	
3. 特別養護老人ホーム四條畷荘	25
養護老人ホーム四條畷荘	
4. 特別養護老人ホーム光明荘	27
5. 特別養護老人ホーム高槻荘	29
6. 特別養護老人ホーム白島荘	31
7. 東大阪養護老人ホーム	33
8. 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか	35
特別養護老人ホーム永寿園とよなか	
9. 軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘	37
特別養護老人ホーム豊寿荘	
10. 軽費老人ホーム万寿荘	39
11. 軽費老人ホーム河南荘	40
12. 障がい者支援施設みずほおおぞら	41
特別養護老人ホームみずほおおぞら	
13. 介護老人保健施設かがやき	43
14. OSJ研修・研究センター	45
15. 事務局	46
V 研修実施内容	47

令和2年度を振り返って

令和2年度は4月に政府から新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、法人全体の感染予防対策をより一層徹底する必要が高まり、各施設においては今まで培ってきた人と人との繋がりや地域との関わり方の変更を強いられることとなりました。そのような状況の中でも、職員一人ひとりが感染予防対策に真摯に取り組み、また、新しい繋がり方や関わり方について「今、何かできる事は無いのか」を考えながら、様々な取り組みを推進し成果を上げられたことについては、職員の日々の努力と、関係機関の方々のご協力の賜物と思っています。

さて、当法人は令和3年3月末におかげさまで設立50周年を迎える事ができました。その記念すべき年度に、令和元年度より準備を進めてきた豊中市における介護老人保健施設かがやきの運営開始、箕面市における地域包括支援センターの運営開始、海外からの技能実習生の受け入れの取り組みなど各関係機関のご支援を頂きながらチャレンジすることができました。そして、令和3年7月末竣工予定の高槻荘ユニット化大規模改修においては、職員が全力で感染対策を講じ入居者の安全を第一に考えながら工事を進め、多床室からユニット型居室への切り替えを順次行うなど困難な中でも計画を進捗することができました。

今後福祉ニーズはますます複雑化し、また、感染症や自然災害が想定されるなど不確実な状況の中においては、今まで以上の柔軟力を持ちながら、かつ、その時々状況に即応し使命を果たすことができる社会福祉法人となることが求められます。当法人は、令和2年度の取り組みをもとに、これからの50年に向けて存続し続ける社会福祉法人の果たすべき役割と責務を今まで以上に明確にしながら着実に成果を上げ、そして「地域から必要とされ、地域から支えられる社会福祉法人」となれるよう、全ての職員と一歩ずつ歩を進めてまいります。

結びにあたり、今年度の当法人の事業推進に関わって下さった全ての方々に心から感謝を申し上げるとともに、新型コロナウイルス感染症の早期収束について心より祈念申し上げます。

理事長 行松 英明

法人概要

1. 沿革

■ 昭和46年	3月11日	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団設立発起人会開催 大阪府民生部長畑中豊作氏を設立代表者に互選、設立準備に入る 設立認可申請書を厚生大臣に提出 役員定数を理事「9名」監事「2名」とする
■ 昭和46年	3月25日	厚生省社第204号をもって認可される
■ 昭和46年	3月30日	設立登記完了 第1回理事会開催 初代理事長に大阪府副知事湯川宏氏が就任
■ 昭和46年	4月1日	特別養護老人ホーム泉南特別養護老人ホーム(入所定員100名)、養護老人ホーム東大阪養護老人ホーム(入所定員150名)、軽費老人ホーム和風荘(入所定員70名)、同豊寿荘(入所定員100名)、婦人保護施設たまも寮(入所定員55名)、同あかね寮(入所定員50名)、精神薄弱者授産施設大東園(通所定員50名)の7施設の受託経営 軽費老人ホーム使用料収納事務の受託
■ 昭和46年	5月17日	初代理事長湯川宏氏退任
■ 昭和46年	5月18日	二代理事長畑中豊作氏就任
■ 昭和46年	5月20日	軽費老人ホーム万寿荘(入所定員50名)の受託経営
■ 昭和47年	5月26日	第二種社会福祉事業「医療社会福祉事業振興対策資金の貸付事業」の受託運営
■ 昭和48年	4月1日	補助金方式を委託料方式に改める 精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に増員
■ 昭和48年	8月1日	附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営
■ 昭和49年	7月24日	老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員養成事業」の追加受託
■ 昭和50年	4月1日	軽費老人ホーム河南荘(入所定員100名)の受託経営
■ 昭和50年	10月1日	泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事業」の実施
■ 昭和51年	3月31日	二代理事長畑中豊作氏退任
■ 昭和51年	4月1日	三代理事長大阪府民生部長榎居孝氏就任
■ 昭和51年	7月31日	三代理事長榎居孝氏退任
■ 昭和51年	8月1日	四代理事長浅海浩氏就任
■ 昭和52年	7月1日	特別養護老人ホーム美原荘(入所定員120名)の受託経営
■ 昭和52年	10月1日	特別養護老人ホーム春日丘荘(入所定員120名)の受託経営
■ 昭和53年	7月1日	精神薄弱者授産施設白鷺園(通所定員50名)の受託経営
■ 昭和53年	8月1日	特別養護老人ホームにおける「ねたきり老人短期入所事業」の実施
■ 昭和53年	11月18日	特別養護老人ホーム四条畷荘(入所定員120名)の受託経営
■ 昭和54年	2月1日	第二種社会福祉事業「老人総合センター」の受託経営
■ 昭和54年	3月31日	附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」を老人総合センターに移管し廃止
■ 昭和54年	6月19日	四代理事長浅海浩氏退任
■ 昭和54年	6月20日	五代理事長板東義雄氏就任
■ 昭和55年	3月1日	特別養護老人ホーム光明荘(入所定員120名)の受託経営
■ 昭和56年	4月1日	役員定数、理事「9名」を「11名」とする 附帯的公益事業「社会福祉会館」の受託経営 精神薄弱者授産施設白鷺園の通所定員「50名」を「60名」に増員
■ 昭和56年	12月31日	婦人保護施設あかね寮(入所定員50名)の廃止
■ 昭和57年	2月1日	特別養護老人ホーム高槻荘(入所定員100名)の受託経営
■ 昭和57年	6月1日	五代理事長板東義雄氏退任 六代理事長福田順一氏就任
■ 昭和60年	4月1日	特別養護老人ホーム白島荘(入所定員90名)の受託経営
■ 昭和62年	6月15日	六代理事長福田順一氏退任
■ 昭和62年	6月16日	七代理事長山中治氏就任
■ 昭和63年	2月1日	事業の経営を「大阪府の委託を受けて」を「大阪府等の委託を受けて」に定款変更
■ 昭和63年	3月1日	高槻市から第二種社会福祉事業高槻市老人デイサービスセンターの受託経営
■ 平成2年	3月31日	「老人総合センター」の受託経営廃止
■ 平成2年	10月1日	特別養護老人ホーム光明荘において「家庭奉仕員派遣事業」の実施
■ 平成3年	5月24日	七代理事長山中治氏退任
■ 平成3年	5月25日	八代理事長竹内壮彦氏就任
■ 平成3年	11月1日	婦人保護施設たまも寮において「婦人保護施設退所者自立支援事業」の実施
■ 平成3年	12月1日	高槻市老人デイサービスセンターにおいて「高槻市ホームヘルプサービス事業」の実施
■ 平成4年	4月1日	東大阪養護老人ホームにおいて「虚弱老人短期入所事業」の実施
■ 平成4年	6月1日	特別養護老人ホーム美原荘において「老人入浴サービス事業」の実施
■ 平成4年	7月1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「茨木市ホームヘルプサービス事業」の実施
■ 平成4年	7月15日	高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「在宅サービス供給ステーション事業」及び「在宅介護支援センター運営事業」の実施
■ 平成5年	4月15日	高槻市郡家老人デイサービスセンター「B型からA型」に移行に伴う「訪問事業」「配食サービス事業」の実施
■ 平成6年	1月1日	高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「高槻市身体障害者デイサービス事業」の実施
■ 平成6年	10月1日	特別養護老人ホーム光明荘において「光明荘老人デイサービスセンター」、「和泉市在宅サービス供給ステーション事業」及び「和泉市在宅介護支援センター事業」の受託経営(身体障害者デイサービスも含む)
■ 平成7年	10月1日	特別養護老人ホーム美原荘において「勤労意欲助長事業」の実施
■ 平成8年	3月14日	特別養護老人ホーム高槻荘において「高槻市身体障害者短期入所事業」の実施
■ 平成8年	3月31日	八代理事長竹内壮彦氏退任
■ 平成8年	4月1日	九代理事長永井貞三郎氏就任
■ 平成8年	5月27日	役員定数、理事「11名」を「13名」とする
■ 平成8年	10月1日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町ホームヘルプサービス事業」の実施
■ 平成9年	3月31日	婦人保護施設たまも寮受託経営廃止
■ 平成9年	4月1日	婦人保護施設「女性自立支援センター」(入所定員150名)の受託経営 茨木市より第二種社会福祉事業「茨木市立老人福祉センター沢池荘」「茨木市立沢池老人デイサービスセンター」の受託経営
■ 平成9年	4月21日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町在宅介護支援センター事業」の受託経営
■ 平成9年	7月1日	泉南市より第二種社会福祉事業「泉南市立老人デイサービスセンター」の受託経営
■ 平成10年	3月31日	九代理事長永井貞三郎氏退任

■平成10年	4月	1日	十代理事長 家常恵氏就任 軽費老人ホーム和風荘をケアハウスに建て替えケアハウス和風荘として受託経営 茨木市立沢池老人デイサービスセンターにおける「ホリデイサービス事業並びに時間延長事業」の実施 特別養護老人ホーム美原荘・春日丘荘における「24時間対応(巡回型)ホームヘルパー派遣事業」の実施 特別養護老人ホーム美原荘において「ナイトケア事業及び父子家庭介護人派遣事業」の実施 特別養護老人ホーム光明荘において「和泉市身体障害者短期入所事業」の実施 特別養護老人ホーム四条畷荘において「福祉自動車送迎サービス事業」の実施
■平成10年	6月15日		高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「訪問看護ステーション事業」の実施
■平成10年10月	1日		泉南特別養護老人ホームにおいて「泉南市在宅介護支援センター事業」の実施
■平成11年	5月	7日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町給食サービス事業」の実施
■平成11年	9月	1日	泉南特別養護老人ホームにおいて「社会生活適応訓練事業」の実施
■平成11年10月	1日		11の居宅介護支援事業所において「要介護訪問調査事業」の実施
■平成12年	1月	6日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町老人デイサービス事業」の実施
■平成12年	3月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「老人デイサービスセンター事業」「配食サービス事業」の実施
■平成12年	3月31日		知的障害者授産施設大東園・白鷺園の受託経営廃止 十代理事長 家常恵氏退任
■平成12年	4月	1日	介護老人福祉施設、短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、訪問看護事業における32介護保険事業所の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム春日丘荘において「春日丘荘在宅介護支援センター事業」の実施
■平成12年	4月13日		十一代理事長 興津進康氏就任
■平成12年	5月	1日	特別養護老人ホーム白島荘において「配食サービス事業」の実施
■平成12年	6月22日		特別養護老人ホーム美原荘において「高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業」の実施
■平成13年	3月15日		特別養護老人ホーム四条畷荘において「配食サービス事業」の実施
■平成13年10月	1日		女性自立支援センターにおいて「堺市知的障害者地域生活援助事業」の実施
■平成14年	3月	1日	特別養護老人ホーム白島荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
■平成14年	3月29日		事業団出資額40,000,000円を加え、基本金を50,000,000円とする
■平成14年	3月31日		大阪府立施設の条例改正により6特養、1軽費の受託経営廃止 泉南特別養護老人ホームの施設廃止、及び、これに伴い、介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援(2ヶ所)の事業の廃止 特別養護老人ホーム高槻荘における訪問看護事業の廃止
■平成14年	4月	1日	役員定数、理事「13名」を「9名」とする 特別養護老人ホーム美原荘、特別養護老人ホーム春日丘荘、特別養護老人ホーム四条畷、特別養護老人ホーム光明荘、特別養護老人ホーム高槻荘、特別養護老人ホーム白島荘、経費老人ホーム(ケアハウス)和風荘の設置経営の為、土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する 高槻市立郡家老人デイサービスセンターにおいて「精神障害者居宅介護事業」の実施
■平成14年	8月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において「精神障害者居宅介護事業」の実施

■平成15年	4月	1日	短期入所、居宅介護、デイサービス、地域生活援助における15支援費事業所の指定を受け事業実施 高槻荘郡家デイサービスセンターの建物を高槻市から無償譲渡を受け、大阪府より同施設の土地を購入 特別養護老人ホーム春日丘荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
■平成15年	7月	1日	特別養護老人ホーム高槻荘において福祉用具貸与事業の指定を受け事業実施
■平成16年	2月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて訪問介護事業の指定を受け事業実施
■平成16年	4月	1日	軽費老人ホーム豊寿荘の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する 茨木市立南茨木老人デイサービスセンターにおいて「老人デイサービスセンター事業」「配食サービス事業」の実施 南茨木居宅介護支援事業所において居宅介護支援事業の指定を受け事業実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「老人デイサービスセンター事業」「知的障害者デイサービス事業」の実施 特別養護老人ホーム6施設、養護老人ホーム1施設、軽費老人ホーム3施設の計10施設において社会貢献事業実施
■平成16年12月	1日		特別養護老人ホーム高槻荘において訪問介護員養成研修事業の許可を受け事業実施
■平成17年	3月31日		女性自立支援センターにおいて堺市知的障害者地域生活援助事業の廃止 大阪府医療社会福祉事業振興対策資金借入金利子補助事業の廃止 十一代理事長 興津進康氏退任
■平成17年	4月	1日	東大阪養護老人ホーム及び軽費老人ホーム万寿荘、軽費老人ホーム河南荘の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する 十二代理事長 中村幹雄氏就任
■平成17年	5月	1日	四条畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」において「身体障害者」「知的障害者」「障害児」訪問介護事業実施 豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」において「精神障害者居宅介護等事業」の実施
■平成17年	7月	1日	軽費老人ホーム豊寿荘をケアハウスに建て替えケアハウス豊寿荘として事業実施
■平成17年10月	1日		軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘において特定施設入居者生活介護事業実施
■平成18年	3月	1日	軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘において特定施設入居者生活介護事業実施
■平成18年	3月31日		大阪府立女性自立支援センター事業運営終了 大阪府社会福祉会館の会館運営終了
■平成18年	4月	1日	特別養護老人ホーム「豊寿荘」(入所定員50名)事業実施 特別養護老人ホーム豊寿荘において「短期入所生活介護事業」の実施 特別養護老人ホーム豊寿荘において「通所介護事業」の実施 特別養護老人ホーム豊寿荘において「診療所ゆたか」の開設 特別養護老人ホーム四條畷荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム光明荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム高槻荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施 白島荘グループホーム「華の家」において「短期利用共同生活介護事業」の実施 美原荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 四條畷荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 光明荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施

■平成18年	4月 1日	白島荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与事業における24介護予防事業所の指定を受け事業実施
■平成18年	6月 1日	東大阪養護老人ホーム訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」において「介護予防通所介護事業」の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム豊寿荘において「介護予防短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施
■平成18年	9月30日	光明荘デイサービスセンターにおいて実施していた「介護予防通所介護事業」の廃止 美原荘、四條畷荘、高槻荘、豊寿荘において実施していた障害福祉サービス事業「外出介護事業」の廃止
■平成18年10月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」「外部サービス利用型介護予防特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施 美原荘、春日丘荘、四條畷荘、光明荘、高槻荘、豊寿荘の訪問介護事業所にて障害福祉サービス「重度訪問介護」の指定を受け事業実施 光明荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施 美原荘訪問介護事業所において「地域生活支援事業移動支援事業」の指定を受け事業実施
■平成19年	3月 1日	白島荘グループホーム「華の家」において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
■平成19年	3月31日	特別養護老人ホーム美原荘における「訪問入浴事業」の廃止 美原荘、光明荘、光明の郷ケアセンターにおける「障害者デイサービス事業」の廃止
■平成19年	4月 1日	美原荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「地域活動支援センター事業」の実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「入浴サービス事業」の実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「日中一時支援事業」の実施
■平成19年	6月 1日	春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「産前・産後ホームヘルパー事業」の実施
■平成19年11月26日		特別養護老人ホーム四條畷荘竣工
■平成20年	1月 1日	特別養護老人ホーム四條畷荘において「通所介護事業」の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム四條畷荘において「四條畷荘診療所」の開設
■平成20年	2月 1日	養護老人ホーム四條畷荘(入所定員50名)事業実施 養護老人ホーム四條畷荘において「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
■平成20年	3月31日	高槻荘における障害福祉サービス「経過的デイサービス事業」の廃止
■平成20年	4月 1日	箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「白島荘小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」」の指定を受け事業実施
■平成20年	8月 1日	軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘において「介護予防特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
■平成21年	3月31日	特別養護老人ホーム白島荘における「配食サービス事業」の廃止
■平成21年	4月 1日	万寿荘において池田市立敬老会館での「老人福祉センター事業」の指定管理者の指定を受け事業実施 特別養護老人ホーム春日丘荘において「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施

■平成22年	3月15日	特別養護老人ホーム春日丘荘リニューアルオープン
■平成22年	3月31日	特別養護老人ホーム美原荘における「配食サービス事業」の廃止 十二代理事長 中村幹雄氏退任
■平成22年	4月 1日	十三代理事長 高木哲夫氏就任
■平成22年	5月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において保険診療の開始 高槻荘において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所事業」の指定を受け事業実施
■平成22年	6月 1日	春日丘荘グループホームにおいて「介護予防認知症対応型共同生活介護事業」「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施 春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「茨木市高齢者ごいっしょサービス事業」実施
■平成22年	9月 1日	特別養護老人ホーム美原荘、ケアハウス和風荘リニューアルオープン 特別養護老人ホーム美原荘において保険診療所の開設
■平成23年	3月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」、「小規模多機能型居宅介護事業」、「認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
■平成23年	4月 1日	堺市において堺市立北老人福祉センター、東老人福祉センター、堺市立美原総合福祉会館・美原老人福祉センターの指定管理者の指定を受け事業実施
■平成23年	4月30日	高槻荘における「福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与事業」の廃止
■平成24年	3月31日	美原荘における「在宅介護支援センター運営事業」の廃止 東大阪養護老人ホームにおける「居宅介護支援事業」の廃止
■平成24年	4月 1日	美原荘において、「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施
■平成24年	4月 2日	東大阪養護老人ホーム移転先土地の購入
■平成24年	8月 1日	光明荘デイサービスセンター、在宅サービス棟リニューアルオープン
■平成24年	9月21日	大阪府よりサービス管理責任者等研修事業者の指定を受け事業実施
■平成24年10月	1日	美原荘において「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」の指定を受け事業実施
■平成25年	1月15日	特別養護老人ホーム永寿園とよなか新築工事の竣工
■平成25年	2月 8日	特別養護老人ホーム白島荘建替え等工事着工
■平成25年	3月 1日	永寿園とよなかにおいて「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業」「通所介護事業」「短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施
■平成25年	3月27日	基本金の一部10,000,000円を大阪府へ返還し、基本金40,000,000円とする
■平成25年	3月31日	特別養護老人ホーム光明荘リニューアル工事の竣工
■平成25年	4月 1日	豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの指定管理者の指定を受け事業実施及び「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施 春日丘荘において茨木市立老人福祉センター南茨木荘、茨木市立老人福祉センター桑田荘での老人福祉センター事業の指定管理者の指定を受け事業実施 大阪府より介護員養成研修(介護職員初任者研修課程)事業者の指定を受け事業実施
■平成25年	7月17日	大阪府より相談支援従事者(初任者及び現任者)研修事業者の指定を受け事業実施
■平成25年10月31日		東大阪養護老人ホーム建替え工事の竣工
■平成25年12月 1日		東大阪養護老人ホームにおいて「通所介護事業」の指定を受け事業実施

■平成26年	2月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて「居宅介護支援事業」の指定を受け事業実施
■平成26年	7月31日		特別養護老人ホーム白島荘建替え等工事の竣工
■平成26年	8月	1日	OSJ工房よりそいの丘において「就労継続支援A型事業」及び「就労継続支援B型事業」の指定を受け事業実施
■平成26年	8月	5日	法人事務局を大阪市中央区から箕面市に移転 OSJ研修・研究センター設立
■平成26年	10月20日		高槻市において高槻荘地域密着型サービス施設新築等工事の着工 堺市において、地域密着型特別養護老人ホーム(仮称)すこう新築工事の着工
■平成26年	12月	1日	白島荘において「計画相談支援事業」及び「障害児相談支援事業」の指定を受け事業実施
■平成27年	2月13日		万寿荘における「居宅介護支援事業」の廃止
■平成27年	4月	1日	茨木市において、沢池多世代交流センター、南茨木多世代交流センターの指定管理の指定を受け事業実施 みずほ・おおぞらにおいて、「生活介護事業」、「就労継続支援B型事業」、「短期入所事業」、「日中一時支援事業」、「計画相談支援事業」、「地域移行支援事業」、「地域定着支援事業」、「障害児相談支援事業」の指定を受け事業実施
■平成27年	7月24日		高槻市において高槻荘地域密着型サービス施設新築等工事の竣工
■平成27年	8月	1日	高槻荘において、「小規模多機能型居宅介護事業」及び「認知症対応型共同生活介護事業」の指定を受け事業実施
■平成27年	9月15日		堺市において、地域密着型特別養護老人ホーム(仮称)すこう新築工事の竣工
■平成27年	9月28日		四條畷荘において「四條畷荘いっぶくステーション『よろか』」を開始
■平成27年	10月	1日	四條畷荘において「短期入所事業」の指定を受け事業実施 美原荘において、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」、「認知症対応型共同生活介護事業」の指定を受け事業実施
■平成27年	10月	5日	豊中市において、障がい者、高齢者福祉サービス施設(仮称)みずほおおぞら園新築工事の着工
■平成27年	11月	1日	豊寿荘において、新千里東町に「居宅介護支援事業」「訪問介護事業」の指定を受け事業実施
■平成27年	12月	1日	豊寿荘において、新千里東町で「あいあい食堂」を開始
■平成27年	12月31日		永寿園とよなかにおいて、「老人デイサービス事業」を廃止
■平成28年	4月	1日	豊寿荘において、原田介護予防センター、服部介護予防センターの事業を実施するとともに、各介護予防センター内において、「通所介護事業」の指定を受け事業実施 東大阪養護老人ホームにおいて、「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施 OSJ工房よりそいの丘において、「特定相談支援事業」の指定を受け事業実施
■平成28年	8月	1日	みずほおおぞらにおいて、「施設入所支援事業」、「就労継続支援A型事業」の指定を受け事業を実施、また、島江町「生活介護事業」、「就労継続支援B型事業」、「計画相談支援事業」、「地域移行支援事業」、「地域定着支援事業」、「障害児相談支援事業」を、また、稲津町から「短期入所事業」、「日中一時支援事業」、を同所に移転
■平成28年	9月	1日	みずほおおぞらにおいて、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて、「生活介護事業」の指定を受け事業実施 河南荘において「福祉有償運送事業」の実施
■平成28年	12月	1日	永寿園とよなかにおいて「企業主導型保育事業」の実施

■平成29年	3月31日	十三代理事長 高木哲夫氏退任
■平成29年	4月1日	十四代理事長 行松英明氏就任 役員定数、理事「9名」を「6名」とする 豊寿荘において、千里介護予防センター、柴原介護予防センター、庄内介護予防センターの事業実施 豊寿荘において、原田介護予防センター内で「居宅介護支援事業」の指定を受け事業実施 みずほおおぞらにおいて、豊中市から「生活介護事業」を引き継ぎ事業実施
■平成29年	5月1日	光明荘において、「認知症機能強化型地域包括支援センター」の委託を受け事業実施
■平成29年	10月1日	OSJ工房よりそいの丘において、「委託相談支援事業」の委託を受け事業実施
■平成29年	11月1日	豊寿荘において、原田介護予防センター内で「通所型サービスA」の指定を受け事業実施
■平成30年	3月1日	豊寿荘において、原田介護予防センター内で「企業主導型保育事業」の実施
■平成30年	8月1日	診療所ゆたかにおいて、「訪問リハビリテーション事業」の指定を受け事業実施
■平成30年	9月1日	豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」並びに「ひがしまち」において、「移動支援事業」の指定を受け事業実施
■平成30年	12月1日	白島荘において、「移動支援事業」の指定を受け事業実施
■平成31年	1月1日	春日丘荘において訪問型サービスA（緩和）の指定を受け、事業実施
■平成31年	3月31日	高槻荘における、「訪問入浴介護」の事業を廃止
■平成31年	4月1日	豊寿荘において、高川介護予防センターの事業実施 豊寿荘において、高川介護予防センター内で「通所介護」「通所介護相当」の指定を受け、事業実施 春日丘荘において玉櫛・水尾地域における「地域包括支援センター事業」の委託を受け事業実施 光明荘において「通所介護相当サービス」の指定を受け、事業実施 光明荘において「訪問介護相当サービス」の指定を受け、事業実施 白島荘において、「居宅介護（障がい）」「重度訪問介護（障がい）」の指定を受け、事業実施
■令和	元年5月1日	白島荘において、箕面市立光明の郷ケアセンターにおける「日中一時支援」「入浴サービス事業」の事業を廃止 光明荘において「訪問看護」の指定を受け、事業実施
■令和	元年10月1日	東大阪養護老人ホームにおいて「居宅介護（障がい）」「重度訪問介護（障がい）」「移動支援」の指定を受け、事業実施
■令和	元年10月18日	特別養護老人ホーム高槻荘の大規模改修工事の着工
■令和	元年12月1日	豊寿荘において、庄内介護予防センター内で「居宅介護支援」の指定を受け、事業実施
■令和	2年3月1日	白島荘において箕面市立光明の郷ケアセンターにおける「共生型生活介護」の指定を受け、事業実施
■令和	2年4月1日	かがやきにおいて、「介護老人保健施設」「通所リハビリテーション」「居宅介護支援」の指定を受け、事業実施 かがやきにおいて豊中市北西部圏域における「地域包括支援センター事業」の委託を受け事業実施 かがやきにおいて、一般財団法人豊中市医療保健センターとの協働事業として 「とよなか人材育成センター」の事業実施 白島荘において箕面市東部における「地域包括支援センター事業」の委託を受け事業実施
■令和	2年7月1日	豊寿荘において、通所訪問型短期集中サービス事業の委託を受け事業実施

2. 評議員会

回	開催年月日	出席者数	議案項目
1	令和2年6月29日	7名	報告案件 第1号 令和元年度事業報告 第2号 令和元年度収入支出決算 第3号 社会福祉充実残額
2	令和2年8月13日	7名	第1号議案 定款の一部変更
3	令和2年11月24日	7名	第1号議案 定款の一部変更
4	令和3年3月31日	7名	第1号議案 基本財産の処分及び減少

3. 理事会

回	開催年月日	出席者数		議案項目
		理事	監事	
1	令和2年6月12日	6名	2名	第1号議案 令和元年度事業報告 第2号議案 令和元年度収入支出決算 第3号議案 ガス供給契約 第4号議案 職員定期健康診断業務委託契約 第5号議案 職員の給与に関する規則の一部改正 第6号議案 評議員会の報告の省略
2	令和2年7月30日	6名	2名	第1号議案 定款の一部変更 第2号議案 職員の給与に関する規則の一部改正 第3号議案 パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正 第4号議案 常勤医師就業規則の一部改正 第5号議案 マスター職員就業規則の一部改正 第6号議案 施設長の任免 第7号議案 評議員会の決議の省略
3	令和2年9月9日	6名	2名	第1号議案 公用車自動車保険契約締結 第2号議案 事務用品等の購入に係る契約申込 第3号議案 給与に関する規則の一部改正
4	令和2年10月30日	6名	2名	第1号議案 定款の一部変更 第2号議案 給食委託業者との契約締結 第3号議案 評議員会の決議の省略
5	令和2年12月16日	6名	1名	第1号議案 企業財産包括保険(火災保険)の加入 第2号議案 社会福祉法人大阪府社会福祉事業団在宅勤務規程の制定
6	令和3年2月15日	6名	2名	第1号議案 高齢者施設等の空調更新工事 第2号議案 特別養護老人ホーム高槻荘ユニット化にかかる家電製品の売買契約 第3号議案 役員賠償責任補償制度の加入 第4号議案 職員の給与に関する規則の一部改正 第5号議案 常勤教育職員就業規則の一部改正 第6号議案 短時間勤務規則の制定

回	開催年月日	出席者数		議案項目
		理事	監事	
7	令和3年3月26日	6名	2名	第1号議案 令和2年度収入支出予算の補正 第2号議案 令和3年度事業計画 第3号議案 令和3年度収入支出予算 第4号議案 基本財産の処分及び減少 第5号議案 介護老人保健施設かがやきの空調更新工事 第6号議案 堺市立老人福祉センター指定管理協定書の締結 第7号議案 経理規程の一部改正 第8号議案 O S J 介護員養成スクール学則の一部改正 第9号議案 処務規則の一部改正 第10号議案 職員の給与に関する規則の一部改正 第11号議案 パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正 第12号議案 マスター職員就業規則の一部改正 第13号議案 評議員選任・解任委員の選任 第14号議案 評議員候補者の推薦 第15号議案 理事候補者の推薦 第16号議案 監事候補者の推薦 第17号議案 施設長の任免 第18号議案 会長の委嘱 第19号議案 顧問の委嘱 第20号議案 評議員選任・解任委員会の招集 第21号議案 評議員会の決議の省略

4. 監事監査 監事は、定款、定款施行細則及び監事監査規則に基づき、理事会等の重要会議への出席と重要書類の閲覧、審査を通して理事等の職務執行について適法性、妥当性に関する監査を実施した。

監事監査日： 令和2年5月28日

5. 評議員一覧

委嘱名	氏名
評議員	田中 進
評議員	岩田 敏郎
評議員	新庄 桂子
評議員	関川 芳孝
評議員	中谷 敬子
評議員	飯田 哲司
評議員	関家 鎭一

6. 役員一覧

委嘱名	氏名
理事	行松 英明
理事	荒田 房生
理事	高木 哲夫
理事	佐藤 真一
理事	山上 幸雄
理事	三谷 伸次郎
監事	葭矢 忠
監事	武本 勝司

7. 施設長会議

回	開催年月日	議案項目
1	令和2年4月24日	1 新型コロナウイルスにおける対応について 2 令和2年度体制について 3 第12回理事会について 4 新規事業の状況について(かがやき・箕面市東部包括)
2	令和2年5月21日	1 新型コロナウイルスの対応について 2 決算概要について 3 eラーニングの取り組みについて 4 労働時間の適正化について
3	令和2年6月18日	1 安全運転の徹底について 2 令和2年度夏季賞与の支給について 3 ハラスメント報告について 4 虐待疑い事案について 5 看護職員の職務手当見直しについて 6 無資格未経験の採用者に係る取り扱いについて 7 決算・事業報告について 8 障がい者雇用の推進について 9 労働時間の適正化について
4	令和2年7月16日	1 内部監査について 2 送迎車における人身事故について 3 不適切なケアについて 4 法人内における応援体制の構築について 5 就職準備金の助成について 6 エリア職員の登録ブロックの設定等について 7 労働時間の適正化について
5	令和2年8月20日	1 コロナ禍でのサービス面での取り組みについて 2 経営協の会報への取材について 3 アメーバ経営システム導入等について 4 人事・給与ソフト導入にかかる作業依頼について 5 労働時間の適正化について
6	令和2年9月17日	1 法人内における新型コロナウイルス感染発生時の対応 2 令和2年度第3回理事会報告について 3 飲酒運転による人身事故について 4 不適切ケアについて 5 令和2年度 総合防災訓練について 6 労働時間の適正化について
7	令和2年10月15日	1 新型コロナウイルス感染対策について 2 上半期の状況分析と下半期に向けての対策について 3 新規事業の状況について 4 高槻市事業団からの事業譲渡について 5 池田市敬老の里プロジェクトについて 6 経営協の取材について 7 不適切な対応について 8 高槻荘大規模改修工事の進捗状況について 9 給食業者選定について 10 外国人技能実習生の受け入れについて 11 労働災害の抑制について 12 労働時間の適正化について

回	開催年月日	議案項目
8	令和2年11月19日	1 感染対応の現状について 2 外国人技能実習生の受け入れについて 3 堺市老人福祉センター、地域包括支援センターの公募結果 4 令和3年度当初予算事業活動資金収支差額目標について 5 在宅勤務規程(案)の制定について 6 公印及び割り印並びに受発文書の管理手順一部省略について 7 労働時間の適正化について
9	令和2年12月7日	(臨時) 1 新型コロナウイルス感染予防の徹底について
10	令和2年12月17日	1 新型コロナウイルス感染及び対応の状況について 2 令和2年内部監査の報告について 3 外国人技能実習生の受け入れについて 4 在宅勤務規定の制定について 5 公印及び割り印並びに受発文書の管理手順一部省略について 6 労働時間の適正化について
11	令和3年1月21日	1 新型コロナウイルスに関する対応について 2 令和3年度施設整備費予算について 3 eラーニングの活用について 4 技能実習生の受け入れ状況について 5 短時間正規職員制度等の導入について 6 労働時間の適正化について
12	令和3年2月18日	1 新型コロナウイルス感染対策について 2 令和2年度補正予算及び令和3年度当初予算の概要について 3 令和2年度決算スケジュールについて 4 特定処遇改善加算の支給割合の見直しについて 5 短時間勤務規則について 6 職員満足度調査の集計結果について 7 労働時間の適正化について
13	令和3年3月18日	1 新型コロナウイルス感染対策について 2 職員の事業所内における暴力行為について 3 令和3年度人事異動について 4 令和2年度末退職者及び令和3年度辞令交付日程について

事業管理

1. 新たな取り組みの推進

1 新規事業の開始、開始の準備

- 令和元年度より準備を進めてきた介護老人保健施設かがやきの事業運営を開始。
- とよなか人材育成センターで介護福祉士養成施設であるOSJとよなかケアスクールの立ち上げ準備。
- 高槻市社会福祉事業団が運営する在宅3事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問看護事業）の移譲について譲渡契約書を締結し、令和3年度の事業開始に向け1月に準備室を設置。

2 eラーニングによる新たな研修の開始

コロナ禍において、リモート学習による自己研鑽を積む体制を整備するため、外部教材を活用したeラーニングの運用を開始し、施設内の必須研修及び自己学習機会の提供体制を構築。

3 技能実習生の受入れ

ベトナム、中国から技能実習生の受け入れを開始し、施設職員によるきめ細やかなサポートによる受け入れ態勢を構築。



食事介助



車イス移動



移乗介助



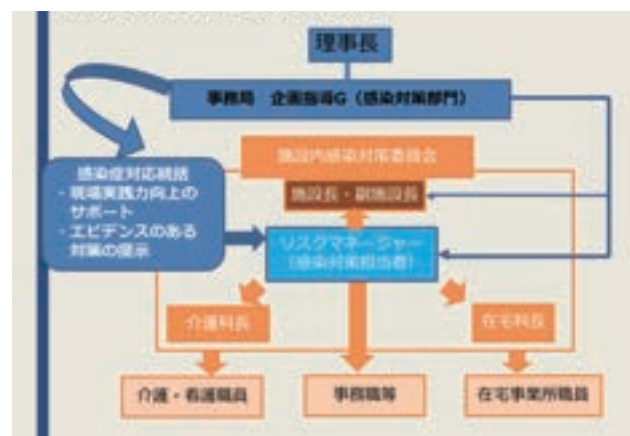
歓迎会

2. 新型コロナウイルス感染予防対策、災害発生時の減災に向けた取り組みの推進

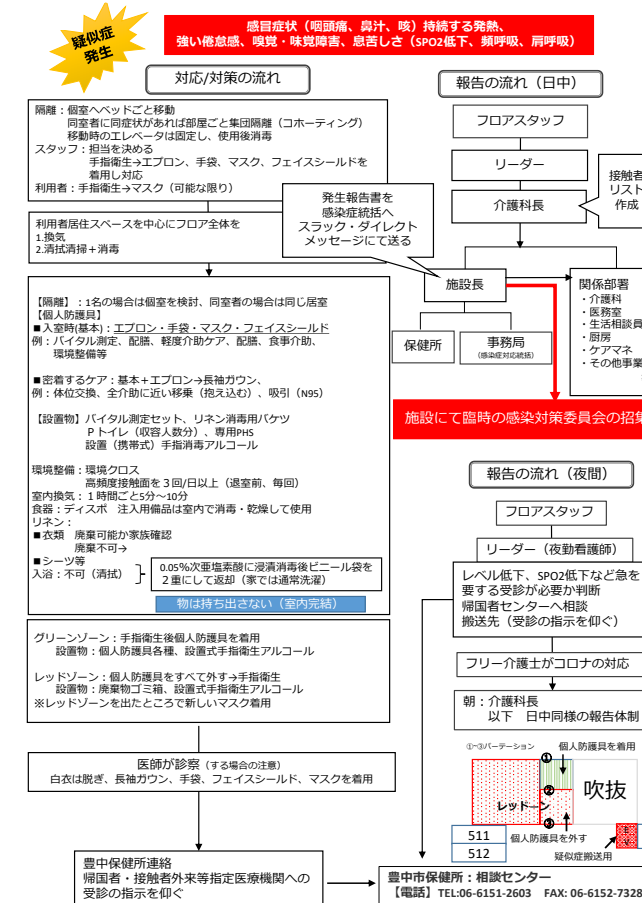
1 法人全体の感染対策強化を目的に、法人と施設が統一した対応を行うための組織体制の構築

- 事務局に感染症対応統括を配置。
- 施設単位で感染対策におけるリスクマネージャーを配置。
- 月に1回、全施設参加のリスクマネージャー会議を実施し、基礎知識の向上及び各施設の取り組み報告、対策上の疑問点や問題点を解決。
- 発生時の対応フローチャート作成及び事業継続計画（BCP）作成に着手。

【感染対策組織の構築】

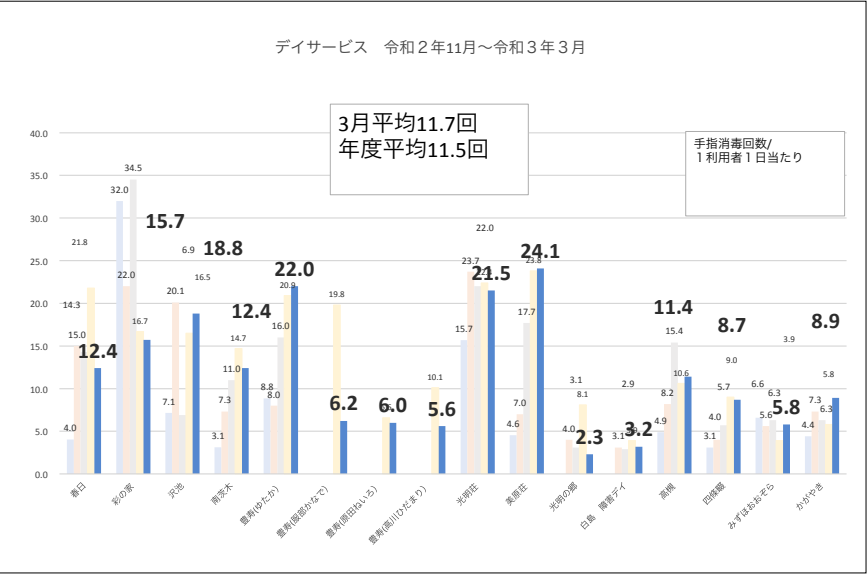
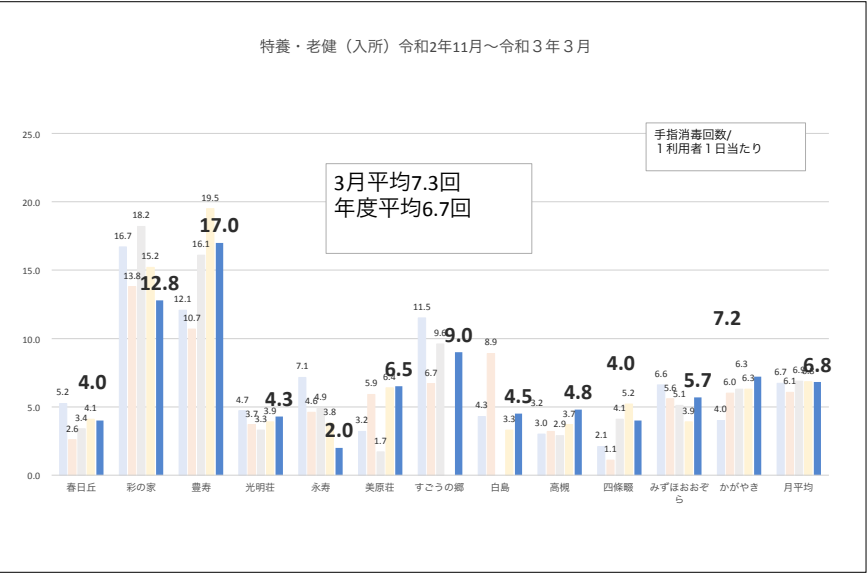


【新型コロナウイルス感染疑い発生対応フロー（入所編）】



2 感染対策の基礎力向上のための取り組み

- ①感染対策の基本である「標準予防策」と「手指衛生」のチェックリストの作成と研修の実施。
- ②職員の手指消毒剤使用量を測定し実施状況の評価（サーベイランス）。
- ③感染症対応統括による全施設へのラウンドなど実地指導を実施。



3 感染症発生時の応援派遣体制の構築のための取り組み

- ①応援派遣時の対応フローや職員の宿泊場所等の情報収集の実施。
- ②クラスター発生時の応援派遣体制の構築と、
応援派遣職員に対する防護服等の着用に関する研修の実施。
- ③法人内クラスター発生施設に対し、看護職員2名、
介護職員2名の応援職員を2週間程度派遣。



4 災害発生時想定の大規模防災訓練の実施と各種備蓄品の確保

- ①地震や台風の災害を想定し、法人全体の情報を災害対策本部において共有し
把握することを焦点に新たな情報共有ソフトを活用した訓練の実施。
- ②災害発生時及び感染症発生時において
必要な備蓄品の確保。



3. 職員確保に向けた取り組みの推進

1 無資格者や他産業の人材を積極的に雇用するための求人の実施

- ①コロナ禍により事業縮小した企業との関係構築のための取り組みの実施。

2 就職説明会の実施及び就職を促す制度の創設

- ①大阪府外の求職者へのオンライン就職説明会を実施。
- ②令和2年6月より就職のために転居が必要と認められる職員に対して
引っ越し費用・借家入居のための費用等に助成を行う制度の創設。

3 就職を希望する高校生、大学生への継続的アプローチの実施

- ①就職求人サイトへ掲載・就職フェアへの出展、個別学校訪問の実施・就職説明会の開催等による求人情報の発信。
- ②施設見学・職場体験・インターンシップ・個別相談会・介護出張講座（授業）の開催による
福祉や法人の魅力を「知る」「見る」「体験する」場の提供。
- ③採用試験の実施方法・内容の変更。

4. 業務の効率化の取り組みの推進

1 効率的な働き方の推進

- ①多様な働き方の推進に向けた在宅勤務規定の整備。
- ②各会議をWebにて開催。
- ③給与・人事システムの連動による業務省力化の準備。

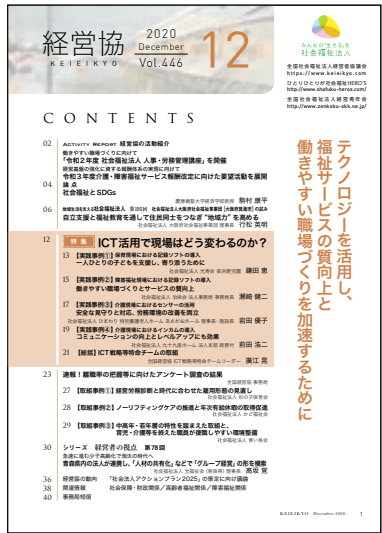
5. 地域における公益的な取り組みの推進

1 地域を支える社会福祉法人として地域ニーズをきめ細やかに受けとめた取り組みの実施

【実施内容一覧】

■ 美原荘	地域ボランティア「りんりんサポーター」へ昨年度の活動状況報告会と今後の活動説明会を実施。
■ 春日丘荘	買い物送迎サービス「かるがも号」の運行実施とニーズの把握・内容の充実。
■ 四條畷荘	「よろか」公開講座や体操教室等を開催。コロナ禍も定期的な安否確認や情報交換等を維持。
■ 光明荘	認定生活困窮者就労訓練の前段階として、引きこもりの方の社会参加に向け施設敷地内園芸作業の提供。
■ 高槻荘	高槻荘サポーターによる独居高齢者宅訪問。 メールマガジンを活用し、認知症予防や認知症の方への係わり方等に関する動画配信。
■ 白島荘	地域小学校下校時の見守り、パトロール実施。「福祉学習体験」講師。
■ 東大阪養護	鍵預かりサービス導入に向けて他機関調整、地域住民への提案に着手。
■ 永寿園とよなか	小学生放課後居場所づくりのプログラム内容や職員体制の見直し。
■ 豊寿荘	休業中の「あいあい食堂」スペースで小規模の趣味活動や屋外体操を実施。
■ 万寿荘	「健康生活支援講座」参加予定者へ資料を配布し、自宅で出来る脳トレや健康体操の啓蒙。
■ 河南荘	河南町の生活援助サービス従事者研修、認知症サポーター養成講座に施設職員を派遣し人材の育成に貢献。
■ みずほおおぞら	利用者と一緒に「オオゾラヤ」パン宅配を通じて地域交流を継続。
■ かがやき	簡単に取り組むことが出来る体操「かがやきセルフケア365」の定期配信をYouTubeで開始。

2 全国社会福祉法人経営協議会の会報「経営協」による実践・報告



6. その他の取り組み

1 施設整備

- ①高槻荘大規模改修工事は、令和3年7月竣工に向け感染対策を徹底した中で実施。
- ②令和3年4月のOSJとよなかケアスクール開校に向けて旧豊中看護学校を一部改修。
- ③各施設においてW i - F i 環境の整備工事を実施。

2 中長期計画

- ①令和4年度からの中長期経営計画策定に向けた準備に着手。

3 OSJぶらざ

感染予防の観点から集合型のOSJぶらざの開催を自粛し、映像配信により実施。



OSJぶらざ

4 内部監査

- ①コンプライアンス委員会を中心とした監査を行い、必要に応じて迅速に改善し、その結果を施設長会議で報告。
- ②実施概要
実施時期：令和2年9月1日～10月30日
実施対象：13施設
実施回数：44回
新型コロナウイルス感染対策として、書類監査及び訪問による監査を実施

美原荘

「笑顔いきいき365日」



事業施行概要

「困った時の美原荘」と地域のニーズに応える事業推進

- 市から依頼のあった緊急一時入所や措置入所を積極的に受け入れました。
- りんりんバスの運行に向けて、地域の関係者と調整を行いました。

ステップアップ事業

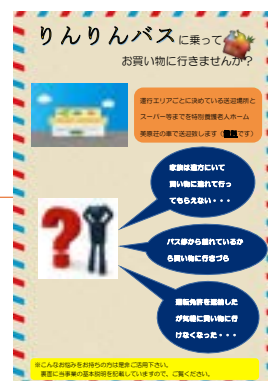
りんりん（隣鈴）バスの運行

取り組み内容

交通アクセスが不便な3つの地域に対して、近隣スーパーとの送迎を行うバスを週1回運行し、買い物支援を実施する計画でしたが、調整までとなりました。

達成内容

各地域の自治会関係者と協議し、送迎バスの発着場所を確保すると共に、近隣スーパーから送迎バス運行の許可を頂いた為、利用希望者に対して運行に向けた調整をしました。



取り組み内容

入居者、ご家族、地域住民の憩いの場づくりを目指し、すごうの郷地域交流スペースの活用を進めました。

達成内容

感染症対策のため各種取り組みは中止を余儀なくされましたが、保健センター主催の脳トレ教室は、3か月にわたり計6回開催し、地域交流スペースを活用して頂くことができました。

施設設備

取り組み内容

- 美原荘の居室・共用部分の空調設備入れ替え工事の具体的な工程を調整し、令和3年度実施となりました。
- すごうの郷の壁面の塗装については計画を見直し、実施を先送りすることとしました。
- 老朽化の激しい浴槽用給湯器や循環水昇温設備の更新等を実施し、来年度に向け、空調機の更新やキュービクル部品の交換、カーペット更新等の準備を行いました。

重点項目

医療サービスの充実

喀痰吸引基礎研修を2名が受講し、全体で基礎研修終了者を増やす事は出来ましたが、体制上の課題があり実地研修については次年度に持ち越しとなりました。

介護予防の積極的な取り組み

コロナ禍で感染対策をしたカラオケや映画会、オンライン利用の初詣や小学校との交流会を実施し、小学生に人生の先輩としての助言や戦争体験談など総合学習に貢献できました。



介護ロボット、福祉用具、ICT機器等の活用

移乗用のリフトとリフレックスボードの使用法について特養の各グループ単位で研修を行い、複数のグループで導入を実現し、使用について定着させることが出来ました。



職員定着に向けた取り組みの推進

ベトナム人技能実習生2名に対して、受け入れ体制を整えることで日本での生活と介護業務を定着させる事が出来ました。また、技能実習生に介護技術を分かりやすく丁寧に伝える事で、職員の指導力向上につながりました。

法人スキルブックを活用し、ユニット職員と人材育成担当職員によるOJTを行う事で、業務への習熟度を多角的に測り、新人職員が安心して独り立ち出来るようフォローする事が出来ました。また、インターネット研修を活用して、時間と場所を選ばない学習機会を用意する事で、全職員が研修に参加する事が出来ました。

地域公益事業

地域の互助の醸成に向けた取り組み

りんりんサポーターでは活動状況報告会と今後の活動についての会議を開催しました。喫茶コーナーは感染症の影響で開店できず、認知症カフェと就労支援は実施できていません。



春日丘荘

その人が望む
暮らしの実現へ



事業施行概要

利用者自立支援の醸成について

利用者の個々のケアプランの見直しを行い、個性性の高いケアを実施し、あらゆる視点から予防に取り組み、入院者を大幅に削減することが出来ました。

地域の世代間交流の懸け橋を目指す

地域包括支援センターでは全職員分のタブレットを導入し、オンラインを活用し学校・子ども若者支援機関との連携を深め、新生活様式に応じた「繋がり」を模索し実行しました。



ステップアップ事業

法人作成のスキルブックを活用し、サービス向上を図る

取り組み内容

ローテーション勤務でOJTが不十分な点を補う為、スキルブックの内容充実を図ることにより効率よく指導及び育成を行い、サービスの個別化と質の充実に取り組みました。

達成内容

特養介護職全員のスキルブックの活用



地区(沢池・南茨木)交流イベントの促進

取り組み内容

コロナ禍のため、オンラインを活用したイベントを開催しました。

達成内容

多くの子供に参加して頂くことができました。高齢者と子供の交流については感染拡大防止の観点から実施することができませんでした。

重点項目

ノーリフティングケアの推進

簡易モジュール型車椅子、フルフラットティルトリクライニング車椅子を導入し、移乗ボードやシートと併用することで、安全・安楽に移乗介助を実施し、使用の定着を図ることが出来ました。



職員定着に向けた取り組みの推進

厳しい事業運営でしたが、職場環境の改善を重視し補助金の活用等できる工夫をして、職員用休憩室を3部屋設置、個浴にリフトを設置する等、労働衛生の向上に努めました。

介護ロボット、ICT機器等の活用

業務効率化を高める一助としてWi-Fi環境の整備、春日丘荘グループでのオンライン会議の開催、備品ではタブレットPC、非接触型体温計の導入、さらには次年度のインカム導入の準備が出来ました。



地域公益事業

地域のコミュニティ強化のための取り組み

乗車定員減等の感染予防に努め、年間延べ約300名の地域住民が買い物支援「かるがも号」を利用されました。よりニーズに応える為、運行先の拡充等計画し次年度に実施します。

コロナ禍であらゆる地域活動が制限される中、感染予防に必要な備品や情報を提供し、工夫して今地域でできることを一緒に検討しました。



四條畷荘

たくさんの笑顔に出会いたい
～地域の皆様に信頼と安心を～



事業施行概要

魅力を高める

- 4つのモットーについて、より具体的な取り組みを実施。
デイでは健やか委員会、ホスピタリティー委員会など4つのPTを立ち上げ、また独自理念を作り、その魅力を発信しました。
- 独自のコーチング研修の第一回目を実施し、12名の受講者がOJTスキルを身に付け、仕事への自信に繋げることができたと同時に、良好な信頼関係づくりに寄与できました。
- コロナ禍での制約の中、ICTを活用した新しい行事スタイルの開発(新しい「夏・秋まつり」等)を行い、地域住民には間接的な参加を要請したことで、地域とのつながりを維持させることができました。



ステップアップ事業

施設・在宅間のシームレスなケアの展開

取り組み内容

在宅サービスと施設サービスの間を移行するご利用者に、継続性のあるケアが提供できるように、ケアパスを構築しました。

達成内容

ケアパスツールを作成し、実施しました。1ケースのみの適用ですが、在宅サービス事業主体の情報提供により、ケアパスの構築に繋げることができました。

重点項目

介護ロボット、ICT機器等の活用

スマート介護士の有資格者が新たに配置され、移乗系介護機器の活用を中心に進めることができました。



医療サービスの充実

施設サービスにおける看取りケアについて、多角的な側面からアプローチできるように「グリーフケア研修」に3名の職員を派遣し、伝達研修を通して共有することができました。

リハビリテーションの充実

四條畷荘診療所に「訪問リハビリテーション事業(みなし)」を立ち上げ、機能訓練指導員を1名配置しました。養護特定ご入居者の重度化予防に成果を出すことができました。



キャリア目標が持てる職場環境づくり

四條畷荘版「リーダー養成研修」を実施し、期待されるリーダー像や課題解決能力の養成等を目標にユニットリーダーを中心に15名が受講しました。

新しい雇用の創出

デイ・SS・養護に機能訓練指導員を新たに配置し、特養主任機能訓練指導員のもとで地域・ご入居者・ご利用者向けの「ほほえみ体操」を収録。SNSやICTを活用し発信しました。

中国人技能実習生4名への指導として、介護技術はもちろん、日本語教育や私生活のサポートにも取り組み、人材育成担当を中心に全職員できめ細やかな対応を心がけました。



地域公益事業

「よろか」ブランドの展開

コロナ禍により、ほぼ一年閉店せざるを得なくなりましたが、サポーターとの繋がりは、定期的な安否確認や情報交換等により、絶やすことなく維持させることができました。



光明荘

手をつないでいこう！
どんなときもいつまでも



事業施行概要

地域における大規模多機能施設を目指して

- 地域の介護予防教室の自粛期間における予防教室参加者やデイサービス利用自粛者への情報提供として、自宅で出来る介護予防体操資料を配布し、つながりを維持しながら重度化防止や活動機会減少防止につとめました。
- 特養利用者で終末期を自宅で過ごしたい利用者に対し、施設と在宅がチームとなり、特養相談科・居宅・ヘルパー・訪問看護が連携し、在宅生活への移行や、サービス提供を行い在宅生活を支援しました。
- 様々なサービスを提供し在宅生活を支援し、居宅とデイサービス、ショートステイの情報交換のもと、スムーズな特養への入所につなげる事ができました。

ステップアップ事業

私生活と仕事のバランスを保ち 笑顔いっぱいの職場づくり

取り組み内容

常勤・非常勤の面談を行い、業務の見直しや、人員の配置を行い、無理なく働けるよう取り組みました。またICT化を進め、Wi-Fi環境の整備やタブレット端末の導入、在宅ワークの取り組みをすすめました。

達成内容

離職率には変化はありませんでした。



取り組み内容

小学校休校時に職員の子供を「第三の居場所 光明ん家」で預かりました。

達成内容

安心して仕事ができたと感じました。
4回実施で延べ9名利用しました。

重点項目

医療サービスの充実

訪問看護ステーションで、常勤職員2名、非常勤職員2名を新たに雇用し、地域の難病の方や癌末期の方等、対応が難しいケースにも積極的に関わってきました。特養から在宅復帰された方の在宅でのケアを担当しました。

ショートステイ利用者の体調不良時は多職種と連携をとり、かかりつけ医とつながるようにしています。特養入居者の日々の健康管理に努め、異常あれば荘医診察、内服、点滴等早期治療を行っています。



リハビリテーションの充実

感染対策に努めた上で、法人内施設「ゆたか」の機能訓練指導員と通所介護の機能訓練指導員が連携し、個々の利用者の状態評価を協同で行い、その方の生活を見越したプログラム立案につなげました。

ノーリフティングケアの推進

特養全棟にて二人平行移乗で使用する移乗ボードや高機能ベッドマットを導入しました。それを機に、介護職員から機能訓練指導員への、より安全な方法の相談が増え、前向きなケア検討を行うことができました。



地域公益事業

助け合い支え合う地域づくり

クリーンレスキュー事業について、規定と運用マニュアルを整備し立ち上げました。

希望者については自治会との協働実施に向けて調整しています。

中間就労の前段階として、引きこもりの方の社会参加に向け、1名の方が施設敷地内で園芸作業を行うことで、

外出する機会を通して他者と交流することができました。

防災に関しては感染症の影響から実施できませんでしたが、地域小学校、銀行での認知症サポーター養成講座に光明荘職員をスタッフとして派遣しました。



高槻荘

新生高槻荘



事業施行概要

大規模改修及び個室ユニット化に向けての取り組み

- 大規模改修工事は、設計・工事業者と定例会議や随時調整、併せて感染症予防を徹底し、令和3年7月竣工を目的に進捗しています。
- ホームページ、定期的な電話連絡及びビデオ面会時に、工事の進捗状況や今後の予定等の情報について家族へ発信し、見える関係を継続しました。
- 多職種にて構成する『新生高槻荘neo』のメンバーを中心として、ユニットケアに関する研修を毎月開催するとともに、全職員が動画閲覧を行い、ユニットケアへの意識向上を図りました。
- 工事期間中、高槻荘敷地外で事業を行っている在宅2事業（居宅介護支援・訪問介護）とは、報告・連絡・相談を積極的に行えるように努め、支障なく事業運営をすることができました。



ステップアップ事業

生活圏内で支え合い、助け合う仕組み作りについて

取り組み内容

防災や認知症関係等を含めた地域福祉について語り合える住民懇談会や井戸端会議等の場を作り、ご近所の関係作りや地域連携の一助となるようニーズに対する支援を実践しました。

達成内容

地域住民と防災や認知症をテーマとしたWEB会議を9月に開催し、『コロナ禍において、横のつながりを持続けられることは、非常に安心できる。』との言葉をもらいました。

取り組み内容

高槻荘サポーターにアンケートを実施し、『高槻荘に求めていること』を確認し、高槻荘が緊急避難場所であることのお知らせ、災害時に高槻荘と地域住民が相互に連絡を取れる体制準備を始めました。

達成内容

近隣小学校にて教諭と意見交換を行い、多世代交流が継続できる仕組み作りや地域見守り体制強化について検討しました。

重点項目

介護ロボット、ICT機器等の活用

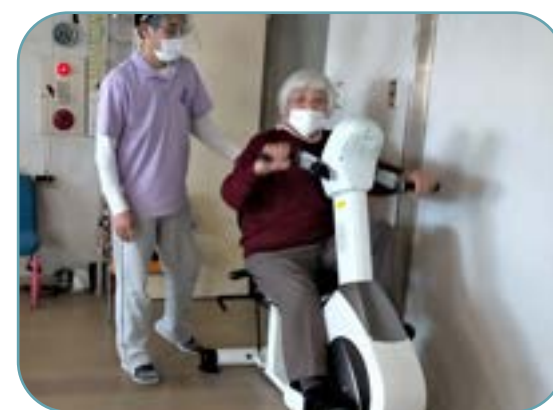
機能訓練指導員が中心となり、介護ロボット使用に関する研修を4回実施するとともに、適宜個別に指導したことで8割以上の職員が介護ロボットを安全に使用できるようになりました。

認知症ケアの推進

認知症ケア検討会において、利用者へ回想を図ることや補助食品による排便コントロールをすることで、認知症状にどのような変化をもたらすのか検証を始めました。

リハビリテーションの充実

デイサービスセンターにて、エアロバイクを導入し、積極的にリハビリテーションに参加する利用者が増加し、機能測定値向上につながりました。



医療サービスの充実

在宅サービスにおいて、利用時の体調変化を看護職員が家族に連絡をすることで、より身体にかかる密な情報交換を行うことができ、過去の病歴等を考慮したサービス提供につなげることができました。

特別養護老人ホームにおいては、医療機関とさらに連携を深め、7名の看取りを行うことができました。

診療所機能を充実させ、ご利用者が住み慣れたところで長く生活できるよう常勤医師配置の準備を進め、令和3年度に配置できるようになりました。



新しい雇用の創出

中間就労訓練生を5名受入れるとともに、訓練中はこまめな面談を行い、3名が一般就労することができました。

支援学校や支援団体との連携から業務内容を見直し、障がい者雇用につなげることができました。

地域公益事業

高槻荘サポーターが主体となった取り組みの実施について

高槻荘サポーターが独居高齢者宅を訪問し安否確認を行う等、互助を意識できる取り組みを実施しました。人にやさしい地域づくりを推進するため、メールマガジンを活用し、認知症予防や認知症の方への係わり方等に関する動画配信を行いました。



白島荘

皆が集まり、繋がりを持ち、
地域との絆を育む



事業施行概要

施設と地域が共に歩き、協力し、繋がる関係作り

コロナ禍により健康教室等は実施出来ませんでしたが、
地域ニーズである下校時見守り隊や青色パトロールに新たに参加し、
地域に根ざした施設であることをアピールしました。



ステップアップ事業

介護予防の促進と集える居場所作り

取り組み内容

光明の郷いきいき健康教室の参加者に対し、健康に関する広報誌を
郵送し、情報提供を行いました。

達成内容

令和2年9月と令和3年3月に約20名に2回郵送を行いました。

重点項目

介護ロボット・ICT機器等の活用

個浴用リフトを4か所に設置し、利用者の安心・安全と入浴業務の負担軽減に繋がりました。また眠りスキャンを2ユニットに導入し夜間の睡眠状態の把握に努めました。



新規事業の取り組み

(仮称)箕面市立ワークセンター小野原の開設に向けた準備として、
法人内の障がい事業所での支援方法や困難事例等を参考にし、研
修等を実施しスキルアップに努めました。

医療系サービスの充実

他事業所が参加する「多職種勉強会」のオンライン研修を通じて、医
療機関等との関係性を深め、研修で学んだ内容を事業所内で伝達研
修を行い、スキルアップに繋がりました。

食事サービスの充実

コロナ禍により家族と一緒に食事作りは実施出来ませんでしたが、
利用者に積極的に食事づくりのお手伝いをしてもらい、その様子をブ
ログにアップし発信を行いました。

職員定着に向けた取り組みの推進

人材確保教育担当委員がスキルブックを活用し指導に当たり、定期的
に面談を行う事により新規採用職員の不安解消と業務の習得状況の
確認を行いました。

新しい雇用の創出

光明の郷ケアセンターに1名、間接業務(清掃業務)に従事する職員(障
がい者雇用)を採用し、特性に応じた業務を担当してもらいながら
、職員の協力体制を整えました。

あらゆるリスクへの備え

障がい特性に応じた支援等の向上のため、WEBでコンサルテーション
研修を2回行い、リスク対応のスキルアップに努めました。

地域公益事業

地域力を醸成し、ニーズの抽出、支援の輪を広げていく

地域ニーズとして小学校下校時の見守り隊に週1回、青色パトロールに3回参加、
また近隣小・中学校に「福祉学習体験」の講師として計3回参加し、地域支援に努めました。



東大阪養護老人ホーム

よりそい愛、地域との共演

事業施行概要

選ばれる施設・ 選ばれるサービスを目指して

- 養護老人ホームの新たなサービスの検討
- 障がい・高齢を問わない在宅サービスの実施
- 制度にないサービスメニューの展開



ステップアップ事業

障害者雇用の促進に向けての取り組み

取り組み内容

清掃や洗濯補助といった内容の業務だけでなく新しい業務の切り分けを行い障害者雇用の推進に向けて取り組みました。
養護老人ホームでの障害者雇用率5パーセントの達成を目指します。

達成内容

新型コロナの影響で新規受け入れができませんでした。作業工程作成と障がい者雇用の推進者を決め、受け入れの体制を整えました。1名の体験実習を受け入れました。



若年性認知症者への支援の取り組み

取り組み内容

包括・相談支援・就労支援等、法人内外の事業所と連携し、若年性認知症の特性に応じたサービスメニューの拡大を図ります。支援内容の蓄積と共有を他の事業所へ行いました。
東大阪市内の他の事業所へ若年性認知症者の居場所づくりの輪を広げます。

達成内容

認知症カフェや、大正区空き家活用協議会のイベントに出張喫茶として若年性認知症利用者とともに就労意欲の向上のため積極的に参加しました。
東大阪市の若年性認知症の本人交流会に職員とともに参加。市主催の就労支援活動として市役所職員向け昼食お弁当配達サービスにも参加し、当事者の就労意欲の向上に取り組みました。



重点項目

新たなサービスの実地に向けた取り組み

①契約入所を先行して実施している施設の方と意見交換を行いました。想定される対象者や事業の準備・運営・利用金額の設定について、今後予想される課題抽出を行いました。

②生きがい支援として連携機関の紹介で民間のねじ工場から袋詰め外注作業を受け行いました。共同作業を行うことで、生きがいや入居者同士のコミュニケーションが向上しました。

③ADL向上活動にスタンプ制度を取り入れたことで、ラジオ体操の参加者が20名程度とこれまでの2倍に増えました。他の健康体操にも、スタンプ制度を取り入れ、参加者増を促しました。



食事サービスの充実

①デイサービスでは年間行事計画に基づき、季節感を感じられる食材等を利用した副食や、手作りおやつを利用者様と共に調理しました。3月にはアンケートを取り、嗜好把握を行いました。

②料理クラブとして参加者を募り、毎月第3水曜日に、おやつ作りで楽しんでいただける時間を作りました。

③安定したプリン食の提供を行い、個別の食事形態に対応しました。

障がい者の地域移行に向けた支援

①他事業所へのパン販売の販路を7か所拡大し、外部販売の売り上げを80%増にしました。視覚障害のある利用者が作成する籠に焼き菓子を入れ販売促進に繋げました。

②よりそいの丘（相談）の職員から、訪問の職員に対し障がい者支援についての研修を実施しました。障がい者を受け入れる体制準備の整理を行いました。

③施設から地域移行のケース1件に対応しました。行政/子ども家庭センター/就労・生活支援センター等と連携し、支援の内容を整理し、支援団体の役割を明確化しました。



地域公益事業

自宅の「鍵預かりサービス」の実施

隣接している府営住宅は、孤立死が顕在化しており、未然防止のため、自宅の「鍵預かりサービス」の仕組みづくりに着手しました。4月開始に向けて他機関との連携を図りました。

永寿園とよなか

そのひとらしく、ここで・・・



事業施行概要

地域の財産となるべく施設づくりをめざして

- 新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、地域での大々的な活動自粛が求められるなか、活動範囲を制限しながら、施設敷地内と近隣地域の清掃活動を継続的に実施しました。
- 小学生の下校時の見守り活動については、感染症対策を入所者と一緒に行いながら実施することができ、社会参加が少しでも図られるよう取り組みました。

ステップアップ事業

ICTの活用によるサービスの質の向上と業務の効率化

■ 取り組み内容

養護老人ホームにおけるケアのあり方を検討し、入所者が重度化されても施設での生活が継続できるよう、職員のスキルアップと意識改革の強化を図りました。

■ 達成内容

自立支援の理解に対する意識調査を行い、浮上した疑問点を昼礼後の15分を活用したミニ講座にし、課題ごとに学びの場を設けたことで職員全体の意識向上に繋がりました。

■ 取り組み内容

スマートフォンと連動したIP無線のパディコムや介護機器であるマッスルスーツの導入を行なうことで、入居者・職員双方の負担軽減を図り、ケア力向上を目指しました。

■ 達成内容

施設全体へのWi-Fi環境の構築とスマートフォンを使用したパディコムを導入し、画像での情報を含め、職員間で一括した情報共有を図ることで、質の向上に取り組みました。



重点項目

利用者の施設生活の活性化と地域での自立した生活をめざして

- ① 地域活動が制限されるなか、施設内で多種多様なクラブ活動を準備することで、自ら選択した活動に主体的に取り組み、日中を活動的に過ごすよう取り組みました。
- ② 施設活動として、屋上菜園で収穫したさつま芋でのおやつ作りや季節に応じた壁飾りの製作を行い、四季を感じながら生活に潤いを感じて頂けるような取り組みに努めました。
- ③ 施設内における日々の自主的な活動や、小学生の下校時の見守り活動と清掃活動の社会参加活動に取り組むことで、地域に根差した生活を意識できるよう支援しました。



介護ロボット、ICT機器等の活用

重介護による介護職員の身体的負担軽減を図るため、マッスルスーツを導入しました。実際に着用することで、腰痛緩和を含め心身ともに安全な介助を実践しました。



担当制保育による、質の向上とアタッチメントの形成

園児一人ひとりに職員を固定する担当制保育を導入しました。1対1の時間を大切に、園児と丁寧に向き合う事で、日々の成長と発達をしっかりと感じ出すことができました。

担当児の保護者と担当職員が毎日顔を合わせ、一日の様子や出来事を細かく連続的に伝えることで安心できると喜ばれ、より親密な信頼関係を構築することができました。

園児が基本的な生活習慣を身に付けながら、生活リズムや情緒の安定と充実を図ることに繋げ、園児と保護者が安心して過ごせる園として成長することができました。



地域公益事業

地元小学生の放課後の居場所づくり

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、実際に小学生が集まることは難しい結果となりましたが、プログラムがいつ開始になってもいいよう、内容の具体化を図りました。子どもたちに楽しく過ごしてもらうためのプログラムや職員体制の見直し、実際に企画を行うときの準備物や講師、対象児童や近隣小学校への依頼方法について策定しました。

豊寿荘

「優しく」「丁寧」
「聴く姿勢」でつながりを



事業施行概要

地域で働く職員として

施設や在宅職員という職域を越え、豊寿荘職員の福祉に関する専門分野や得意分野を地域へ提供するようなメニューを作り、地域へ出向くよう進めました。

ステップアップ事業

オールマイティーな業務の促進

取り組み内容

正規職員は本来業務だけに留意することなく、他部署や地域の活動に積極的に関与していく体制づくりを進めました。

達成内容

ケアハウス職員が、ヘルパー業務を前年度より2倍に拡大して担当しました。その中で在宅での問題点をカバーできるよう随時ケアマネジャーと連携を図る事ができました。



取り組み内容

安全運転に関する取り組み。

達成内容

安全運転に関して映像を使用してシミュレーションする内容の研修や、運転心得を作成し、送迎職員へ周知徹底を繰り返し行いましたが、施設目標の達成には至りませんでした。

重点項目

利用者の自立支援の推進

コロナ禍にあり、外出活動からユニット内でできる活動へと見直し、ユニットで野菜を栽培し、ご利用者と一緒に収穫した物を調理して食べることで意欲向上に繋がりました。



医療サービスの充実

ユニットケアによる個別ケアの観察から、介護、看護、医師との連携のもと、異常の早期発見、診療所機能を活用した早期治療に繋げることができました。

看取り委員会メンバーを中心に、看取りについての知識を更に深めるための個人目標・計画を立て、介護職員向けに各専門職種からの研修を実施し、看取りケアに活かしました。

とよなか健康大学の発展

庄内・千里介護予防センターにおいて、とよなか健康大学を開始することができました。コロナ禍により、感染症対策を講じながら定員を満たす卒業生を送り出すことができました。

また、とよなか健康大学受講生の交流を目的とした校友会にて、受講生同士の交流や卒業後の地域活動に繋げるための情報提供等を行い、センター内でのOB活動に繋がりました。



マネジメントの強化

あらゆるリスクに対応できるように災害時の研修、感染症に関する研修、介護事故に関する研修を定期的に周知することで、職員のスキルアップに繋がりました。

デイサービスの質の向上

個別での見守りが必要な利用者についても、豊寿荘全体でバックアップして支援にあたることで、高い利用率を維持しながらも、安心・安全なサービスを提供しました。

人財定着に向けて

新人職員を中心に、人材育成担当職員がフォローアップ、面談を行い、その結果を担当リーダーと共有することでユニット全体でフォローしながらの育成体制が確立されました。

訪問リハビリ事業の推進

法人内デイサービスとの共同業務が安定し、ケアハウスでのリハビリテーションの重要性が浸透するよう推進しました。生活場面での動作改善や介護予防教室の充実を図りました。



介護予防センター利用者増の取り組みについて

コロナ禍により、センターの休館期間がありましたが、介護予防体操の映像配信や、体操リーフレットの郵送により、フレイル予防に向け、新しい取り組みを実施しました。

昨年度で入浴及び送迎サービスが終了しましたが、各センターが利用者ニーズに合わせて、健康体操や脳トレなどの内容を見直すなどすることで、利用者の低下を回避しました。

地域公益事業

アウトリーチの強化

コロナ禍でも可能な地域との繋がりを維持しつつ、地域公益事業推進会議を中心に今後の状況に適應するための準備を進めました。近隣地区の会合への参加を一部再開しました。

万寿荘

地域とともに、地域に生きる

事業施行概要

創立50周年に向けて 更に介護力を強化する

利用者の個別ニーズの把握に努め、より快適に安心して暮らし続けられるよう介護保険サービスの適切な調整を行い、入居利用率97.2%を達成することができました。入退所も3名と安定した1年にできました。



ステップアップ事業

よりそい子ども交流館を開設する

取り組み内容

よりそいルームの午後の時間を活用する計画でしたが、コロナ禍でよりそいルームを開くこともできず、地域の子どもの集いの場はできませんでした。

達成内容

新型コロナウイルス感染症の対策が続いたため、従来できていた保育所や小学校との交流が困難となった為、よりそい脳トレあおぞら体操で代替しました。



重点項目

よりそい脳トレあおぞら体操教室の開催

7月から開始した水曜日のダイエー移動販売を活用して開催しましたが、コロナ禍や天候の影響により予定した回数には及びませんでした。



介護予防の積極的な取り組み

スタッフがモデルを務めることで、親しみやすくオリジナル感満載の卓上型介護予防冊子『いきいき健康ワーク』を作成できました。コロナ禍で敬老会館が休館になるなか、一人暮らしの方の安否確認を兼ねた訪問に繋げることができました。



地域公益事業

健康生活支援講座の開催

コロナ禍で集まることができなかったため、参加者へ資料の配布を行い、ご自宅でできる脳トレや健康体操の周知を図りました。地域のサロンが再開される時期に薬剤師と連携しての講座を企画するが、直前に緊急事態宣言となり実施は見送りとなりました。

河南荘

いつまでも
自分らしくいきいきと

事業施行概要

地域のセーフティネットとしての 役割を果たす

今年度生活保護者はもちろん、地域包括支援センターや役場からの要請で社会的支援が必要な方12名の入居を支援しました。



ステップアップ事業

施設内での就労支援

取り組み内容

「なにわ和楽日の会」への登録者が2名増え、清掃作業の場を提供しました。次年度は大阪府立こんごう福祉センターと連携し、一般企業からの内職を受注し10名で内職を開始します。



重点項目

新規事業の取り組み

役場や老人クラブ連合会と協議を重ねてきましたが、通所型サービスBの開始には至りませんでした。地域住民を中心に次年度内の開始を目標に進めていきます。



地域公益事業

地域住民と入居者の関わり強化

河南町の生活援助サービス従事者研修、認知症サポーター養成講座に施設職員を派遣しました。コロナ禍のため、地域住民とご入居者が関われるイベントの実施に関しては自粛しました。

みずほおおぞら

このまちで「暮らす」
「働く」を応援します

事業施行概要

豊中市西部における 事業の定着から発展へ

- 各部署が、市内の各連絡会に参加し、情報の共有を行い、市内の困難なケースに対して、リーダーシップを発揮し、支援の提供を行うことが出来ました。
- ロハスフェスタ出店・SNS等の活用により、新たな顧客、他府県から受注の獲得をしました。新たな季節商品開発を行い、利益率の向上と利用者への作業の充実を図りました。
- スタッフ、地域移行先の情報共有ツールとして、マイヒストリーファイルを作成しました。地域移行の際に、ファイルを活用し、支援の見直しを行うことが出来ました。
- 施設版リーダー養成研修受講者を対象に、他事業所へ一定期間の交換研修を行い、研鑽の機会を設けたことで、自部署他事業所への理解を深めることが出来ました。

ステップアップ事業

人を育てることができるリーダーの育成

取り組み内容

施設版リーダー養成講座の内容を、リーダーシップや人材育成に重点をおいたものに変更しました。
前年度受講者自身が講師を担う事で、人に伝える人材育成スキルの向上を図るとともに、研修を運営する職員に対してもファシリテートスキルについてのOJTを実施しました。

達成内容

次世代のリーダーを育成し、年度末に取り組み内容の報告会を実施し、受講生より1名の新たな主任、1名のユニットリーダー、1名のエリア職員を排出する事が出来ました。

他法人との地域移行先の連携による支援体制の構築

取り組み内容

豊中市にあるグループホーム連絡会に参加し、地域移行先との連携強化を図り、拠点施設の役割として、市内のグループホームを対象に定期的な研修会を実施しました。

達成内容

事業者との情報共有に努め、連携事業所14か所となり、15名の地域移行が実現し、地域生活の提供を支援しました。



重点項目

障がい者の地域移行に向けた支援

地域移行前後の生活について情報のまとめを開始。地域移行推進委員会において地域移行後の生活を確認するツールを作成し、現地や電話による生活の様子を確認を行いました。

地域公益事業の積極的な実施

豊中市内の短期入所事業所、豊中市障害福祉課と合同会議を設定し課題共有を行いました。事業所毎で課題が異なり一つにまとめる事が困難で連絡会の立ち上げには至りませんでした。

介護ロボット、ICT機器等の活用

大画面タッチパネルの導入により、画面が大きくなり入力作業が減ったことで、入力を苦手としていた職員が記録業務に積極的に関わることがになり時間短縮が出来ました。



地域の多様な福祉ニーズへの対応

清掃業務、コロナ禍でニーズがあった商品を考え防護服作成を行い平均工賃も前年度に比べ2000円〜3000円向上し最大35000円まで伸ばす事が出来ました。



製菓の販促商品を開発し、SNS等を活用し営業を行いました。利用者、地域顧客獲得により収入の確保をしました。清掃事業では、3名の利用者が就労しました。

SNS投稿に関わる事や、食品表示等の作成・販売接客業務などに就いていただく事で、コミュニケーション・接遇面での評価項目の向上に繋げる事が出来ました。

地域公益事業

地域と互いに支えあう共生社会に向けて

コロナ禍でも地域との交流を絶やさない為、利用者と一緒にパン宅配を実施しました。
パン宅配を通して地域との交流を希薄化せず、交流を続けることが出来ました。



かがやき

共にかがやく!

事業施行概要

サービス提供体制の
基盤を安定させる取り組み

- 各事業所でマニュアルを整備し、必要に応じて見直しを図りながら、同マニュアルに沿って支援することで業務の標準化を進めることができました。
- 入退所判定会の運営を多職種で検討し、ニーズに即応できる体制としたことで、スムーズな入退所調整が実現し、在宅復帰率50%以上を達成することができました。
- ワンダフルカードの取り組みを推進し、法人内で最もワンダフルカードを推進した施設に送られる特別賞を受賞することができました。



ステップアップ事業

職種の垣根を越えたチーム作り

取り組み内容

職員が小集団活動に参加したことで、職種の垣根を越えそれぞれが責任を持ってボトムアップで業務改善を行うことができました。

達成内容

療養部門では介護・看護・リハビリ・支援相談員・ケアマネ・管理栄養士で療養運営会議を毎月開催し、意見交換や情報共有を図る機会を持ちながら業務改善を行いました。

取り組み内容

毎日の朝礼を各事業責任者と各職種の代表者が参加するものに加えて、各部署に分かれて実施し、稼働率目標や感染症対応等について漏れなく情報共有を行いました。

達成内容

利用者様の状況を確認するだけでなく、運営状況をチームで共有することで課題点を速やかに解決することができました。

重点項目

アメーバ経営の実践

アメーバ経営の勉強会を全3回実施し、2月からはアメーバ経営会議をプレ開催しました。そのなかで、全員参加型の経営とは何かについて、アメーバリーダーが理解を深めることができました。



リハビリテーションの充実

令和3年度強化型算定を目指し、言語聴覚士を中心に言語、嚥下リハビリを強化しました。また、新たに認知症短期集中リハビリテーションを開始しました。



医療サービスの充実

法人内の特定感染管理認定看護師と連携し、医療度の高いご利用者に対するケアの質の向上を図るため、褥瘡マネジメントの更なる充実や所定疾患施設療養費の加算について新たに算定することができました。

介護予防の積極的な取り組み

新型コロナウイルスの蔓延により、一同に集まることができない中、地域包括支援センターでは、「地域教室」に申し込んだ方を対象に自宅で簡単に継続して取り組める体操のチラシを作成し個別に配布しました。

介護予防センターに認知症サポーター養成講座やよなか健康大学への講師派遣を行い、高齢者の社会参加に向けた取り組みに協力しました。

新規事業の取り組み

令和3年4月のOSJとよなかケアスクール開校に向け、介護福祉士養成校の許認可を厚生労働省から得て、学生確保の活動やシラバス、カリキュラムの作成など準備を進めました。

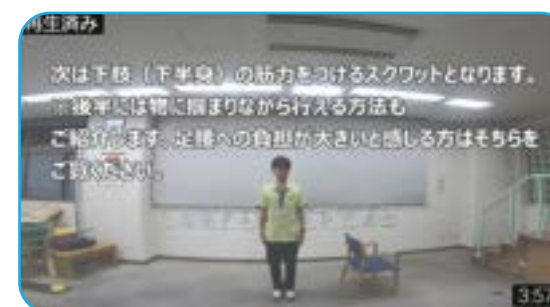
併せて、日本語学校はコロナ禍の影響で開校が令和4年度からと1年間延期になりましたが、入国管理局と文部科学省の調査及びヒアリングを無事にクリアし告示相当校となることができました。



地域公益事業

SNSを活用した機能訓練の動画配信

コロナ禍でも自宅でご利用者、ご家族、地域の高齢者が簡単に取り組むことができる体操を紹介した「かがやきセルフケア365」の定期配信をYouTubeで開始しました。



OSJ研修・研究センター

頼りにされる
研修・研究センターを
目指して!!



重点項目

eラーニングの導入と活用

eラーニングを導入したことにより、コロナ禍においても安全に研修を実施することができ、施設内研修及び新人職員の育成等を進めることができました。

eラーニングを有効に活用しながら内部研修プログラムを見直すことで、職員個々がキャリアアップを目指す研修体系作りの基盤を作ることができました。



人材育成担当職員の配置の見直し

北、中、南エリアの各ブロックに担当の人材育成担当職員を配置することで、人材育成担当職員不在の施設においても、より効果的に職員育成を実施することができました。

認知症ケアに係る事例集の
発行に向けた取り組み

認知症の方の行動別に対応方法が理解できるよう、事業団各施設での認知症ケアについての事例について検証を重ね、次年度内の事例集の発行に向けた取り組みを進めました。

【看護職員eラーニング学習計画 13回】					施設名	
大項目	小項目	回	科目	コード	テスト	
1	感染予防技術	235	VNMA	K 0 30	○	
		104	VNMA	K 0 40	○	
		204	VNMA	K 0 50	○	
		149	VNMA	K 0 70	○	
2	感染予防技術	-	VNMA	K 0 80	○	
		110	VNMA	K 0 01	○	
		048	VNMA	K 0 10	○	
		-	VNMA	K 0 20	○	
3	与薬技術	417	VNMA	H 1 0	○	
		643	VNMA	H 1 10	○	
		330	VNMA	H 1 20	○	
		421	VNMA	H 1 30	○	
4	排泄援助	-	VNMA	H 1 40	○	
		525	VNMA	C 0 30	○	
		653	VNMA	C 0 30 H	○	
		721	VNMA	C 0 40	○	
5	排泄援助	841	VNMA	C 0 40 H	○	
		-	VNMA	C 0 45	○	
		201	VNMA	C 0 50	○	
		1115	VNMA	C 0 60	○	
6	清潔・衣生活援助	942	VNMA	C 0 70	○	
		209	VNMA	J 1 10	○	
		516	VNMA	E 0 60	○	
		756	VNMA	E 0 65	○	
7	与薬技術	340	VNMA	E 0 90	○	
		349	VNMA	E 0 90 H	○	
		359	VNMA	H 0 10	○	
		134	VNMA	H 0 20	○	

事務局

法人創立50周年目のチャレンジ

事業施行概要

第二期中長期経営計画の策定に向けて

令和3年度からの第二期中長期経営計画の策定にむけ、この10年の総括を行う計画としていましたが、コロナ禍で3年度以降の計画が立てられず、一年延期とし、令和3年度に策定することとなりました。



ステップアップ事業

業務効率化の取り組み

取り組み内容

コロナ禍の影響もあり、web会議がスムーズに進められるよう環境の整備、押印処理をはじめとする事務処理の簡素化を図りました。

重点項目

技能実習生から生まれる介護現場の活性化

技能実習生の受け入れについては、新型コロナウイルスの蔓延により、外国人技能実習生の入国が制限されたことから、令和2年12月より美原荘と白鳥荘にてベトナムからの実習生をそれぞれ2名づつ、令和3年2月より四條畷荘にて中国の実習生4名を受け入れています。



法人の魅力を伝える発信力の強化

令和2年4月よりメールマガジンを活用し法人からのメッセージや各施設の取り組み等ホットな情報をオンタイムでお届けしています。法人ホームページについては全面リニューアルに向けた第1ステップとして優先度の高い人員確保に関わる採用ホームページを新たに制作し公開しています。



感染対策の組織構築

新型コロナウイルス感染対策の各種マニュアルを設置するとともに、各施設のリスクマネージャーによるマニュアルの周知、運用、確認、情報の提供等を行う体制の構築を図りました。

業務省力化作業の実施

事務作業のスリム化については、決裁経路の見直しにより効率化をはかりました。新給与システム導入によりこれまで毎月、施設または事務局で1件づつ手入力を行っていた代替賃金、代替通勤費、パート互助会費、親睦会費及び新規採用者の支給金額・控除金額を自動計算化することにより入力手間を削減し業務効率化につなげています。

施設経理事務の支援

経理事務の本部集中化の解除に伴い対象施設で新たに経理事務作業について、事務局と施設の担当者間で進捗状況を確認しながら計画的に進めました。結果、大きな混乱なく、施設にて経理事務が遂行できるようになりました。

収支計画の見直し

新たな給与制度の運用及び、整備計画の更新に伴う収支計画の見直しを進めてきましたが、給与制度の運用に伴う財務面での効果測定については、その実績が確定する次年度に再検証することとなりました。

災害発生時の備えの取り組み

災害発生時こそICTが不可欠と考え、迅速で的確な情報共有の為に、クラウドを活用したツールを検討し、訓練を行いました。出来る限り簡便で視覚的に解りやすい方法を次年度も継続して検討します。



令和2年度事業報告書

研修実施内容

職員研修

①研修実施内容

種別	研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内 容
法人研修	採用前・採用時	新規採用職員集合研修	R3.3.22～3.29 (内6日間)	延べ30名	1日目 社会福祉法人職員としての考え方 2日目 社会人としての基本姿勢、接遇、職員評価制度、人権、虐待防止、身体拘束防止、個別ケアと記録の書き方 3日目 認知症への理解、労働災害の予防、腰痛予防、身体介護の基本、高齢者の理解 4日目 入浴、着脱、食事、アンガーマネジメント 5日目 障がいの理解、救急救命、他職種との連携、リスクマネジメント、排泄 6日目 感染症の基本対応
		採用前・採用時基礎研修	R2.4～R3.3 (内2日間)	延べ181名	・基礎研修、人権（理念、個人情報、虐待防止、身体拘束排除） ・接遇、ケアプラン、認知症、緊急時対応、介護技術等
		グループワーク研修	－		・同期入職者と共同作業・グループワークを行う
		法人内他施設研修	－		・法人内他施設の同業種を体験する
		法人内他施設体験研修	－		・勤務施設と同種の事業団施設を体験し、他施設の運営方法や業務の手順等の体験を通して職員の振り返りと改善に役立てる
		法人内他施設他部署体験研修	－		・中堅職員が、他施設他部署の業務を実際に体験することで総合的に考える視点を養い、新たな気づきや発見を自施設のサービスに還元し、他職種との連携の重要性について改めて理解する機会とする
		苦情解決研修	－		・苦情発生のメカニズム・苦情対応の原則・苦情に至らないための取り組み
		フォローアップ研修	R2.4～R3.3 (採用後随時)	延べ114名	・個別面談を行いメンタルケアの安定を図ることで、モチベーションアップに繋げる ・個人の学びたいことや目標を確認し本人の希望や力量に応じた個別研修プログラムに繋げる
		主任昇任者研修	－		【講義】 ・社会福祉法人の果たすべき役割について ・労務管理及び社会福祉法人としての運営や、安定した事業継続への理解、中長期経営計画、職員評価制度について 等
		第1期人事考課者研修	－		【講義・演習】 ・評価基準の目線合わせ、指導記録表の書き方 ・中間面接の方法、ロールプレイ
	一般職	第2期人事考課者研修	－		【講義・演習】 ・評価の視点や理解を深め、評価基準の統一を図る
		ハラスメント研修	－		【講義】 ・職場のハラスメント防止に向けて
		指導力（コーチングスキル）養成研修	－		【講義・演習】 ・コーチング術の理解及び習得、具体的実践方法 等
		OJT実践研修	R3.2 (動画1.5時間)	43名	・OJTの基本、実践的な推進法とは ・日常の機械的指導から計画的意図的指導へ ・ロールプレイングを通して指導方法の習得
		リーダーシップ研修	－		・リーダーとしての役割と心構え ・仕事を円滑にすすめる方法 ・目標設定とコミュニケーションスキル
		メンタルヘルスケア（セルフケア）研修	－		【講義・演習】 ・ストレスの仕組みやメンタルヘルスの理解を深め、心の健康作りについての意識を高める
	主任または現場指導職員				

①研修実施内容

種別	研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内 容
法人研修	職種別研修	科長昇任研修	－		・科長の役割・経営について・労務管理について
		メンタルヘルスケア（ラインケア）研修	－		組織としてのメンタルヘルスの取り組み
		ハラスメント研修	－		【講義】 ・職場のハラスメント防止に向けて
		人事・労務管理研修	－		【講義】 ・ナレッジマネジメントとは ・ナレッジマネジメントの概要と基礎理論 ・ナレッジマネジメントの活用
	管理職・指導職	財務管理研修	R2.11	22名	【講義】 ・会計管理の基礎、税務の基礎 ・事務スケジュールなどの基本会計や担当者が行う事務等、管理者が知っておくべき概要 ・財務における内部統制のポイント
		人事考課者研修（更新）	－		【講義】 ・人事考課の基本のおさらいとポイント
	個別研修	介護支援専門員 受験対策集中セミナー	WEB（R2.6.12～R2.10.11）	延べ17名	介護支援専門員受験対策に向けての重点内容
		介護福祉士 受験対策セミナー	WEB（R2.8.1～R3.1.31）	延べ17名	介護福祉士資格試験の重点内容対策
	自己啓発研修	リーダー養成自己啓発研修～初級編～	－		【講義・演習】 ・労務管理、財務管理、運営管理について ・法人内部監査同行 ・演習を通しての自己課題設定、自施設課題取り組み
	推奨研修	研究方法基礎研修	WEB R3.2	12名	
		災害リスクマネジメント研修	R2.10～11	134名	
		身体拘束および不適切ケア防止研修	R2.11～12	延べ18名	施設での不適切なケアを未然に防ぎ、虐待防止に繋げる

②外部派遣研修実施内容

研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内 容
外部派遣研修	実務者研修教員講習会	R3.1.21～R3.3.25 (内8日間)	2名	【講義】 ・実務者研修の講師を行うに当たって、必要な知識を修得する
	認知症介護実践研修（実践者研修）	R2.9～11 (内8日間)	1名	【講義・演習】 ・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門員を養成
	認知症介護実践研修（実践リーダー研修）	R2.11～R3.3 (内11日間)	1名	【講義・演習・施設実習】 ・実践研修を修了した者が、リーダー的な役割を持った認知症介護の専門員を養成
	技能実習責任者講習	R2.7.9	1名	技能実習指導員や生活指導員、その他の技能実習に関与する職員の監督や技能実習の進捗状況などを管理します

職員研修

③外部研修実施内容

研修区分		研修名	実施年月日	参加者	内 容
大阪府指定		介護職員初任者研修	R2.9～R3.3	27名	【講義・演習】 ・介護員としての相当の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにする
		介護福祉士実務者研修	R2.8～R2.10	36名	【講義・演習】 ・介護福祉士習得を目指し、医療的ケアも含めた、介護技術を習得し、実践できる人材の養成
		大阪府相談支援従事者研修 (2日課程・7日課程・現任)	R2.10～12(初任2日・7日) R2.12～R3.3 (R2現任)	748名	【講義・演習】(7日課程・現任研修) ・障がい福祉サービスの相談支援事業所における相談支援専門員の養成 【講義】(2日課程) ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の養成
		大阪府サービス管理責任者等基礎研修	R2.8～9 R3.2～3	522名	【講義・演習】 ・障がい福祉サービスにおけるサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の養成
大阪府登録		喀痰吸引等研修(第二号研修)	R2.11～R3.3	3名(基本) 6名(実地)	【講義・演習】 ・施設で喀痰吸引等が必要な利用者に対して、知識を深め、技術を習得し実践できる人材の養成
		喀痰吸引等研修(第三号研修)	R2.9～R3.3	1名(基本) 10名(実地)	【講義・演習】 ・在宅や障がい者支援施設で喀痰吸引等必要な利用者に対し、知識を深め、技術を習得し実践できる人材の養成
堺市受託	認知症介護実践研修	堺市認知症介護基礎研修	R2.8～10	94名	【講義・演習】 ・認知症の基礎的な知識・技術とそれを実践する考え方を身に着け、基礎的な認知症ケアを行うことが出来るよう養成
		堺市認知症介護実践者研修	R2.9～11	56名	【講義・演習】 ・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門員を養成
		堺市認知症介護実践リーダー研修	R2.11～R3.3	19名	【講義・演習】 ・実践リーダーとしてマネージャートレーナー、としての知識、技量の向上を目指す
		堺市認知症対応型サービス事業開設者・管理者研修	WEB R3.2	24名	【講義・演習】 ・堺市認知症対応型サービス事業開設者・管理者の養成
		堺市小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	WEB R3.3	9名	【講義・演習】 ・堺市小規模多機能型サービス等計画作成担当者の養成
		堺市認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	WEB R2.11	7名	【講義・演習】 ・リーダー研修修了者のスキルアップを図るため、最新知識の習得や実践報告を行う
		医療従事者向け・看護職員向け認知症対応力向上研修	－		【講義・演習】 ・認知症に関する基本的知識や実践的な対応力を習得し、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制を構築する
		市民向け認知症対応力向上研修	－		市民の認知症に関する知識の向上を図ることで、認知症のある人もない人も安心して生活できる街づくりを目指す
箕面市		生活支援サポーター養成研修	－		【講義・演習】 ・福祉・介護に関する知識や技術等を習得する養成研修を行い、高齢者等への生活支援サービスを行う担い手を養成する

④地域啓発研修実施内容

研修区分		研修名	実施年月日	参加者	内 容
公開研修		介護ミニ講座	R2.7～R3.1(全7回)	登録者数 150件	【講義・演習】 ・介護の資格を持っているが介護の仕事に従事していない方や、介護の仕事に興味のある方に、介護の知識や技術の基礎を伝え介護の仕事に興味を持ってもらう
		介護支援専門員 受験対策集中セミナー	R2.6～R2.10	2名	介護支援専門員受験対策に向けての重点内容
		介護福祉士 受験対策セミナー	R2.8～R3.1	1名	介護福祉士資格試験の重点内容対策
		介護福祉士 受験対策セミナー(直前対策)	R2.11～12	延べ18名	介護福祉士資格試験の直前対策

MEMO